



# 鹿児島市【社会実験】

## かごしまコミュニティサイクル(ecoちやり)

- 自転車の利用促進による①温室効果ガス排出量の削減、②市民や観光客の回遊性を高めることによる、中心市街地活性化や観光の魅力アップを目的として実施
- 23年度の社会実験とは異なる条件（実施期間・運営時間の延長、利用料・サイクルポートの変更）で実施し、新たな利用ニーズや導入効果を確認するとともに、鹿児島市にふさわしいシステムのあり方について検討

### 【実験の実施概要】

実施期間	9/1(土)～11/30(金) 計91日間	
運営時間	7:30～19:00 (最終貸出時間18:30)	
施設規模	自転車台数	70台
	ポート数	6箇所
料金体系	《登録料金》 1日利用:200円 定期利用:1,000円/月	
	《利用料金》 1時間まで無料 以降1時間ごとに300円	
初期登録	登録方法	申込書に記入し、会員証発行
	登録場所	サイクルポート(6ヶ所)
管理	管理方法	管理員常駐
	貸出・返却の管理	台帳管理
	個人認証媒体	会員証(紙カード)
機器	料金收受	現金
	自転車車両	リサイクル自転車(24～27インチ、小径車)
	ラック	平置き

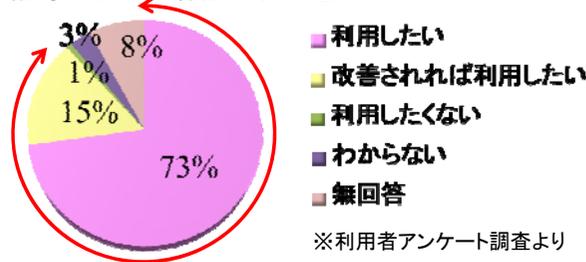
### 【利用実績】

登録者数	2,328名
延べ利用回数	5,524回
1日平均利用回数	60.7回/日
回転率	0.87回/台・日
平均利用時間	31.1分

### 【実験の評価】

- 観光利用・市民利用(通勤通学・買い物・業務)と幅広い目的で利用された。
- 運営時間を23年度と比べ朝夕の時間を延長したことで、定期利用者の「通勤・通学」目的の利用が、23年度は約14%だったが、24年度は約48%と大幅に増加した。
- 行動範囲の拡大や立寄り施設の増加といった街の活性化へ寄与したことに加え、新たな交通手段として高い評価が得られた。

図 本格導入された場合の利用意向



中心市街地の交通結節点や観光拠点を中心にサイクルポートを配置



サイクルポート(駅前広場)



サイクルポート(道路用地)



サイクルポート(道路用地)



利用の様子

実施主体:鹿児島市環境局環境部環境政策課(TEL:099-216-1296)  
運営主体:株式会社KCR

# 福岡市 シーサイドバイク

- 野球等の急な利用ニーズの増減に対応するため、無人貸出機と有人貸出機移動設営)のハイブリッド方式を採用
- 観光客等のニーズに対応するためWEB等での事前登録不要とした

## 【実験概要】

実施期間	期間	2012年8月19日～2013年3月末 計225日間
	運営時間	8:00～20:00
施設規模	自転車台数	100台
	ポート数	5箇所
料金体系		<ul style="list-style-type: none"> <li>・従量課金(最初の1時間200円、以後一時間毎100円)</li> <li>・定期課金(一カ月2000円使い放題)</li> </ul>
初期登録	登録方法	不要
	登録場所	不要
管理	管理方法	有人管理/遠隔管理
	貸出・返却の管理	自転車:IC 個人:クレジットカードナンバー
	集中管理	自動通信
	個人認証媒体	クレジットカード(磁気)
機器	料金収受	クレジットカード
	自転車車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>・27インチ車両</li> <li>・丸石サイクル</li> <li>・6段変速</li> </ul>
	ラック	電磁ロック
	その他	精算機・デジタルサイネージ・POS

## 【実験の目的】

- 想定したターゲット: 観光/通勤等
- 実施の目的や背景等: ヤフードーム周辺の渋滞緩和と環境保全。周辺観光地の活性化やビジネスマンの移動の利便性向上及び低炭素化の推進。

## 【利用実績】2012/8/19~2012/12/31

登録者数	登録不要
延べ利用回数	812回
1日平均利用回数	6.01回/日
回転率	0.06回/台・日
平均利用時間	2時間36分/回

## 【実験の評価】

- 催事の利用については期待通り伸びが見られた。
- 利用者総数は拠点の不足や認知の不足により伸び悩んだ。
- 利用時間や平均単価については観光目的もあり他の実験に比べても長時間・高単価となっている。(回転率が低い)
- ホテルの利用が最多となりニーズの高さを反映した。

## ステーションマップ



《ラック》



《自転車》



《ヤフードーム入り口サイネージ》



《法人向け会員証》

担当 : 福岡市環境局 環境エネルギー政策部 温暖化対策課【加来】  
連絡先: 092-711-4282  
運営事業者リアライズ・モバイル・コミュニケーションズ株式会社  
株式会社アーキエムズ  
日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社



# 江東区

## 江東区臨海部コミュニティサイクル実証実験

- 東京メトロ有楽町線、りんかい線、ゆりかもめの駅前などにステーションを設置し交通ネットワークを充実させる。
- 臨海部の大規模な開発により増加する居住者・就業者・来訪者の回遊性を向上させ賑わいの創出と滞在時間の延長により地域の活性化を促す。

### 【実験概要】

実施期間	期 間	平成 24 年 11 月 21～平成 25 年 11 月 30 日 約 1 年間（予定）														
	運 営 時 間	07:00～22:00														
施設規模	自転車台数	150 台														
	ポート数	13 箇所														
料金体系	<table border="1"> <thead> <tr> <th>プラン名</th> <th>利用料金</th> <th>支払方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1 回会員</td> <td>基本料金 なし</td> <td rowspan="2">クレジット カード</td> </tr> <tr> <td>最初の 60 分 100 円/回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">月額会員</td> <td>基本料金 1000 円/月</td> <td rowspan="2">Pasmo/Suica 現金</td> </tr> <tr> <td>最初の 60 分 0 円/回</td> </tr> <tr> <td>1 日パス</td> <td>500 円 (1 日分)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		プラン名	利用料金	支払方法	1 回会員	基本料金 なし	クレジット カード	最初の 60 分 100 円/回	月額会員	基本料金 1000 円/月	Pasmo/Suica 現金	最初の 60 分 0 円/回	1 日パス	500 円 (1 日分)	
	プラン名	利用料金	支払方法													
	1 回会員	基本料金 なし	クレジット カード													
		最初の 60 分 100 円/回														
月額会員	基本料金 1000 円/月	Pasmo/Suica 現金														
	最初の 60 分 0 円/回															
1 日パス	500 円 (1 日分)															
※1 回会員・月額会員は、1 回の利用が 60 分を超過した場合、100 円/30 分の延長料金がかかります。																
初期登録	登録方法	1) 1 回会員・月額会員 Web と登録機で登録/有人窓口で登録 2) 1 日パス 登録機で登録/有人窓口で登録														
	登録場所	Web/登録機、有人窓口														
管理	管理方法	遠隔管理、作業員による巡回管理														
	貸出返却の管理	自転車付帯の IC チップによる無人管理														
	集中管理	管理本部に自動送信														
	個人認証媒体	携帯電話/スマートフォン、交通系 IC カード、専用 IC カード														
	料金収受	クレジットカード（1 回会員・月額会員）、Pasmo/Suica（1 日パス）、現金（1 日パス）														
機器	自転車車両	ブリジストンサイクル「ベガス」 (20 インチ、3 段変速)														
	ラック	平置き/電磁ロック														
	その他	歩道設置のステーションに安全対策を実施														

### 【実験の目的】

#### ターゲット

○ 観光/業務/私事/通勤・通学 等

#### 実施の背景

- 上位計画における位置づけ
  - ・ 江東区都市計画マスタープラン
  - ・ 豊洲グリーン・エコアイランド構想
- 臨海部の持つポテンシャル
  - ・ 大規模開発による居住者、来訪者、就業者の増加
- 臨海部のまちづくりの課題
  - ・ 施設間の移動利便性
  - ・ 交通ネットワークの不足

### 【利用実績】

2013. 01. 16 時点

登録者数	2,019 名(うち 1 日パス 835 名)
延べ利用回数	7,216 回
1 日平均利用回数	126.6 回/日
回転率	0.84 回/台・日
平均利用時間	43 分/回

### 【実験の評価】

#### 評価

○ 自転車利用の見込みが少ない時期であるが、無料キャンペーン（H24. 11. 21～H25. 1. 7）により、順調に登録者は伸びている。

#### 今後の予定

- 実証実験により、導入効果や事業課題を把握し、事業継続の可能性を検証する。
- ステーションについて、20 箇所程度までの拡大を目指す。

担 当： 江東区都市整備部まちづくり推進課  
 連絡先： 03-3647-9714  
 運営事業者： 株式会社 N T T ドコモ

### ステーションマップ

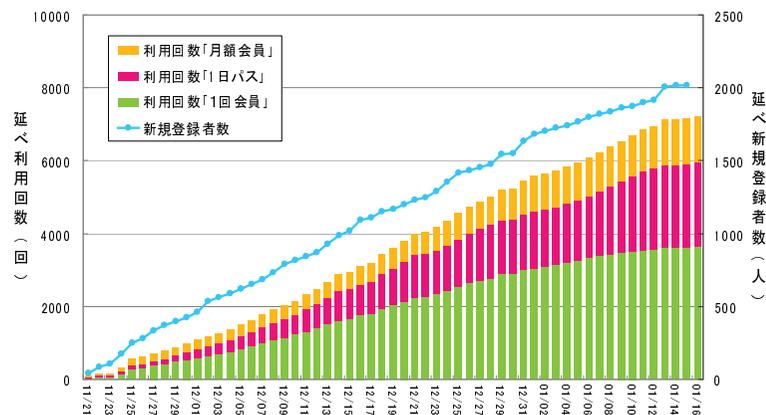


ステーション



自転車

### 利用回数と登録者数の推移





# 名古屋市【社会実験】 鶴舞地区コミュニティサイクル社会実験2012

- コンセプトは「CO2排出量の削減」「放置自転車の削減」「まちの賑わいの創出」
- 過去2回の社会実験を通じ、持続可能な名古屋モデルを設計
- 平成23年度は産学共同研究として名古屋工業大学内で社会実験を実施
- 平成24年度は事業化を見据え、有料・無人管理システムでの社会実験を実施
- 全国初となる交通系ICカード(マナカ)のみで「認証」から「決済」まで行えるシステムを導入

## 【実験概要】

実施期間	期間	11/1(木)~12/16(日) 計46日間
	運営時間	7:00 ~ 23:00
施設規模	自転車台数	30台
	ステーション数	6箇所
料金体系		登録料: 定期券1,000円、回数券(5回)400円、当日券200円 利用料: 30分以内無料、以降30分100円
初期登録	登録方法	Web上でHPへアクセスし個人情報等を仮登録。後日ポートにある認証機にて本登録。
管理	管理方法	遠隔(無人)管理
	貸出・返却の管理	自転車: ICタグ 個人: 交通系ICカード(マナカ)
	集中管理	自動データ送信
	個人認証媒体	交通系ICカード(マナカ)
機器	料金收受	交通系ICカード(マナカ)
	自転車車両	・小径車(新車・3段変速・ブリジストン製)(30台)
	ラック	電磁ロック
	その他	ターミナル

## 【特徴】

- エリア: 都心周辺部の文教地区
- ターゲット: 通学・業務・私事
- ポート: 商業施設(2か所)、公開空地、名古屋工業大学、図書館、道路

## 【利用実績】

登録者数	331名
延べ利用回数	827回
1日平均利用回数	18.0回/日
回転率	0.6回/台・日
平均利用時間	13.2分/回

## 【実験の評価】

- エリアが限定されており、あまり多くの会員登録を得ることができなかった。
- 多様な料金システムを採用したが、短期の実験においては理解しにくいという声もあった。
- 今後は、事業効果や採算性を精査し、行政の関わり方を含め、持続可能なシステムとなるよう検討していく予定である。

担当 : 名古屋市自転車利用課 松村、渡邊  
 連絡先 : 052(972)2858  
 主催 : 名古屋工業大学 伊藤孝紀研究室  
 共催 : NPO法人市民・自転車フォーラム、  
 (公財)なごや建設事業サービス財団  
 運営事業者 : 蔦井(株)



《オリジナル自転車》



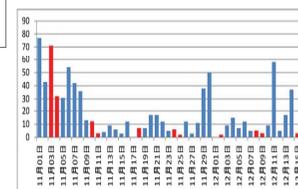
《実用車とラック》



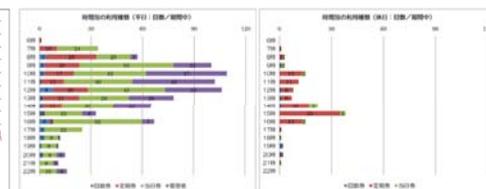
《交通系ICカード(マナカ)》



《メッセ名古屋でのPR状況》



《利用回数》



《時間別利用料金の種類》

# 仙台市コミュニティサイクル

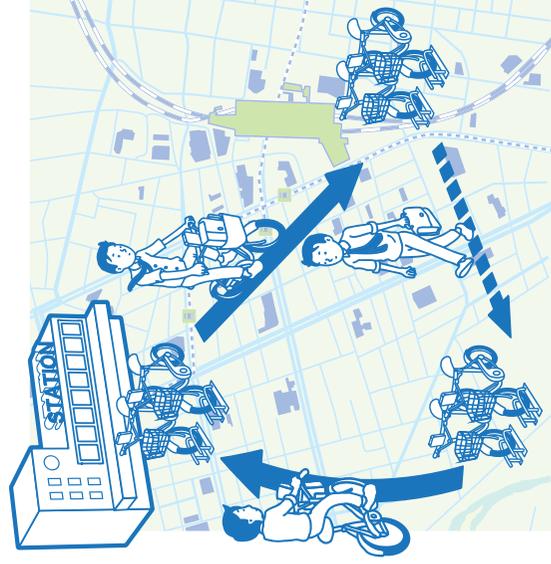
## ? コミュニティサイクルとは？

コミュニティサイクルとは、一定の地域内に複数配置されたステーションで自由に貸出返却ができるサイクルシェアリングシステムです。借りたステーションとは異なるステーションへの返却が可能で、観光、ショッピング通勤への利便性が広がります。

## ステーション

ステーション：自転車の貸出・返却を行う無人の駐輪施設。

自転車の貸出、返却拠点となるステーション。サービス開始時には、いろんな公共施設や駅の周辺など10ヶ所程度設置を予定しております。



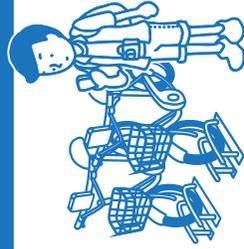
観光・買物・ショッピングのみではなく、通勤などにもご利用いただけます。

## 利用イメージ

① ハンコン・モバイルで会員登録を行います。



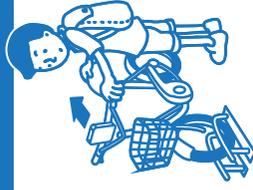
② モバイル端末で貸出予約を行いバスコードを受信します。



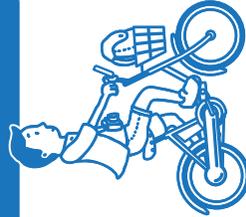
③ 受信したバスコードを自転車の操作ディスプレイに入力します。



④ 鍵を開錠し、自転車をロックから取り出し利用開始。



⑤ 目的地近辺のステーションまで移動。途中で一時駐輪も可能です。



⑥ ステーションに着いたら施錠し終了ボタンを押せば利用終了。



⑦ 徒歩でゆっくり観光・散策。





# 金沢市 (公共レンタサイクル「まちのり」)

- 民間事業者(株)日本海コンサルタントが運営、市は機器類の無償貸与と運営負担金の支出
- クレジットカードを使用し、初めてでもポートにてわずか1分で利用可能
- ホテル等の有人窓口、まちのりサポーターなど、市民や民間企業との協働で実施

## 【実施概要】

実施期間	期間	平成24年3月24日(土)開始
	運営時間	貸出 7:30~22:30 返却 24時間可
施設規模	自転車台数	155台
	ポート数	19箇所+事務局
料金体系		1日基本料金 200円 1月基本料金 1,000円 1年基本料金 9,000円 追加料金 30分超ごとに200円
初期登録	登録方法	ポート(タッチパネル)、窓口(申込書記入)
	登録場所	ポート(無人)、窓口
管理	管理方法	無人・遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出:ICカード等 返却:ラックに返却
	集中管理	自動データ送信等
	個人認証媒体	ICカード又はパスワード
	料金收受	無人:クレジットカード 有人:現金
機器	自転車車両	・小径車、新車 ・20インチ、内装3段変速 ・自動ライト点灯、前カゴ
	ラック	個別電磁ロック式
	その他	路上端末機 (利用手続き、利用履歴確認、 精算書発行、ポート満空等)

## 【目的等】

- (目的)・来街者の2次交通の充実  
・市民の足としての都市内交通の充実
- (背景)・平成22年度に社会実験を実施  
・平成26年度に北陸新幹線が開業予定

## 【利用実績(H24.3.24~H24.12.31)】

購入者数	17,523人・件 うち 1日:16,720人 1月:619人 1年:63人 法人:121件
延べ利用回数	72,653回 うち 1日利用者:53,355回 1月利用者:11,792回 1年利用者:4,124回 法人会員:2,382回
1日平均利用回数	257.6回/日
回転率	1.66回/台・日
平均利用時間	16分/回

## 【今後の課題】

- 来街者への周知
- 採算性の向上
- 公共交通機関との連携

担当:金沢市歩ける環境推進課 小村、山田、中山  
連絡先:076-220-2371  
運営事業者:(株)日本海コンサルタント 片岸、井上、菊本



ポート(広坂:金沢21世紀美術館) ポート周辺店舗との連携 まちのりグッズの製作・販売



広告媒体としての利用



まちのりサポーターの委嘱

- ・民間で運営するサイクルシェアリングサービス。
- ・市民と一緒に考えながら創り上げる、持続可能なコミュニティサイクルを展開。
- ・“安全・安心・元気”をテーマに、人とまちとモビリティの良好な環境の創出を目指す。

### 【実施概要】

実施期間	期間	4/1(日)~11/15(金) 計229日間			
	運営時間	7:30~21:00			
施設規模	自転車台数	300台			
	ポート数	45箇所			
料金体系	登録料:525円、カード代:1050円(送料:420円) ・利用料金:				
		<table border="1"> <tr> <td>1ヶ月</td> <td>基本:1050円/月、延長(利用):105円/30分</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>利用:105円/30分</td> </tr> </table>	1ヶ月	基本:1050円/月、延長(利用):105円/30分	1回
1ヶ月	基本:1050円/月、延長(利用):105円/30分				
1回	利用:105円/30分				
初期登録	登録方法	PCおよびモバイルWeb登録(ポートでのおサイフケータイ登録可)、登録所登録※会員情報およびクレジットカード入力			
	登録場所	Web/ポート/登録所等			
管理	管理方法	管理サーバーによる遠隔集中管理 ※データ自動送信			
	貸出・返却の管理	セルフサービス(ICカード認証)/サーバーによる自転車管理			
	個人認証媒体	専用ICカード/おサイフケータイ/SAPICA(交通カード)			
	料金収受	クレジットカード/請求書(法人)			
機器	自転車車両	・オリジナルシティサイクル(南雲勝志氏デザイン、武田産業(株)製作) ・26インチ、3段変速、自動点灯ライト			
	ラック	平置き/電磁ロック			
	その他	無線通信/ソーラーパネル			

### 【利用実績】

登録者数	一般6,005件、法人590件(210社)、観光415件
延べ利用回数	136,903回
1日平均利用回数	598回/日(最大1,120回/日)
回転率	2.6回/台・日(最大4.6回/台)
平均利用時間	16分/回

### 【目的】

- ターゲット:札幌市民(通勤・私事)、札幌企業(主に業務)、観光客。
- 実施目的:民間が担う新たな公共的な交通サービスとして事業展開。“安全・安心・元気”をテーマに、人とまちとモビリティの良好な環境を創出するまちづくりの一端を担う。また、市民と一緒に考えて考えながら、まちが抱える諸問題を解決していく。

### 【評価】

- 会員数および利用回数は順調に伸びており、札幌の新しい足として活用されてきている。
- 商店街や警察、自治体・省庁などと連携した活動などは報道の注目を集め、さっぽろ環境賞などの評価を得た。
- 環境NGOとの協働運営を通じて、次世代を担う若者と共感しながら“ポロクル”の諸問題解決に取り組むことができた。



車道に面して設置したポート



自転車貸出の様子



運営の様子



スタッフによる交通安全宣言



ユーザー交流会の開催



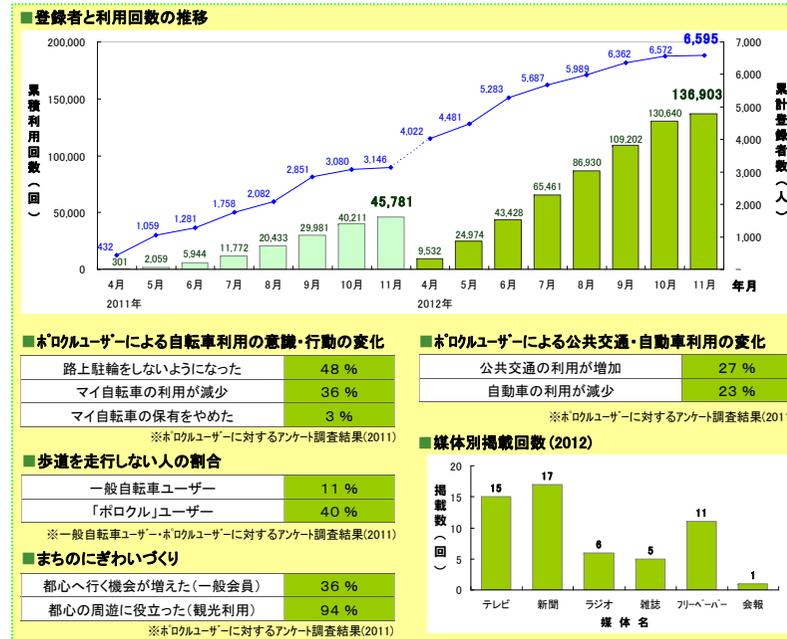
さっぽろ環境賞 札幌市長賞受賞



雑誌・新聞等への掲載



アスリートとの連携によるマナー啓発



連絡先:011-801-1523 担当:澤 充隆  
運営事業者:株式会社ド・コンモビリティデザイン



# 柏市 【実証実験】 かしわスマートサイクル



☆自動車からの転換による温室効果ガスの低減を目的に、自転車利用促進事業の1つとして「かしわスマートサイクル」を導入するため、実証実験を実施

- 独自の取組み**
- ☆お得な深夜料金制度！！ 夜9時～翌朝9時:上限200円
  - ☆完全無人化によるポート運営！！
  - ☆お助けボーナスポイント制度！！ 自転車が少ないポートへの登録 = 200 1ポイント=1円



【深夜利用の一例】

## 【実験概要】

実施期間	期間	H22/4/28(水)～ 継続中
	運営時間	5:00～24:00 ※返却は25:00まで
施設規模	自転車台数	50台
	ポート数	9箇所
料金体系	①月定額プラン：基本料金900円/月 (最初の60分無料, 60分超過ごとに100円)	
	②1回利用プラン：100円/60分 ※夜9時～翌朝9時：上限200円	
初期登録	登録方法	携帯・Web登録, または窓口にて申込書に記入し, 専用ICカードを発行
	登録場所	UDCK, 都市振興公社, 柏市役所 他2箇所
管理	管理方法	ポートは無人管理, 管理者は利用状況を専用サーバーで確認
	貸出・返却の管理	専用ICカードの認証 (個人認証も兼務)
	集中管理	サーバー管理
	料金収受	①クレジットカード ②登録場所にて現金前払い
機器	自転車車両	①ミヤタ製 26インチ 外装6段 ②ブリヂストン製 20インチ 内装3段
	ラック	①オートロック式 ②簡易式(利用者によるワイヤーロック)

運営主体：柏市都市振興公社(TEL:04-7164-4141)  
柏市土木部道路交通課(TEL:04-7167-1219)

## 【実験の目的】

想定したターゲット	通学, 通勤, 来訪者
実施の目的	①利便性の向上
	②利用者動向の把握
	③既存レンタサイクルとのすみ分け
	④長期実験によるシステムの有効性・安定性及び管理上の課題の確認
	⑤事業化に向けた収支の検討

## 【利用実績】 24年12月31日現在

登録者数	854名
延べ利用回数	13,828回
1日平均利用回数	14.1回/日
回転率	0.35回/台・日
平均利用時間	23分/回

## 【実験の評価】

- 利用形態は、柏の葉キャンパス駅と東京大学との利用が約9割を占め、柏の葉地域での回転率は0.59回/台・日
- 利用時間は、利用者の95%が60分未満
- 実験期間中、レンタサイクルの利用は低下していないため、利用形態の違いからレンタサイクルとの共存は可能
- 突発的な無線LANの接続不良、自転車返却時のラック不感知等の機器不良が発生
- さらなる利用率の向上と事業規模の拡大が必要

## 【今後の課題・展開】

- 利便性向上としてポートを新設する(十余二工業団地に平成24年度内設置予定)
- 交通系ICカード、携帯電話決済の導入
- 法人等多頻度利用の会員の取り込み
- 自転車偏在対策
- システム、ポート機器の信頼性の向上



↑柏市北部の自転車走行環境が良い地域を中心に、主要施設等に自転車ポートを配置



↑オートロックポート全体写真 ↑ICカードリーダーと専用ICカード ↑オートロックポートのラック



↑簡易ポート全体写真 ↑ICカードリーダー ↑各ポート間のトリップパターン

貸出	返却	UDCK	東京大学環境棟	柏の葉公園	柏たなか駅	北柏駅	ららぽーと	東京大学図書館	柏駅西口第6駐輪場	柏市役所分庁舎	計
UDCK (オートロック)		788	4,525	80	17	24	22	910	20	14	6,400
東京大学環境棟 (オートロック)		4,377	493	11	6	3	101	10	57	0	5,058
柏の葉公園 (オートロック)		83	16	85	0	3	39	2	5	0	233
柏たなか駅 (簡易ポート)		16	2	0	21	2	0	3	0	0	44
北柏駅 (木製ポート)		2	3	0	3	23	0	0	1	1	33
ららぽーと (簡易ポート)		12	92	54	0	0	79	183	0	0	420
東京大学図書館 (オートロック)		810	27	2	0	2	148	64	32	0	1,085
柏駅西口第6駐輪場 (簡易ポート)		11	9	0	0	1	24	6	22	225	298
柏市役所分庁舎 (簡易ポート)		19	2	0	0	2	1	0	176	57	257
総計		6,118	5,169	232	47	60	414	1,178	313	297	13,828

↑各ポート間の利用回数(22年4月28日～24年12月31日)



# 横浜市 ベイバイク

- 実施主体を市、運営主体をNTTドコモとする協働による実施
- 本格実施を目指した3年間の社会実験
- 役割分担 市:ポート土地の確保、広報、効果検証  
ドコモ:施設整備、運営

## 【実施概要】

実施期間	期間	H23. 4. 25~H26. 3. 31	
期間	運営時間	7:00~21:30	
施設規模	自転車台数	300台(稼働約240台)	
規模	ポート数	29箇所	
料金体系	登録料	無料	
	利用料金(基本料+利用料)		
	基本料	利用料	予約
月額会員プレミアム	1,575円/月	最初の60分 0円 超過30分毎 105円	ご利用の30分前 から予約可
月額会員	1,050円/月		-
1日会員	525円/日		-
1回利用	105円/回		-

初期登録	登録方法	携帯電話、パソコンによる登録
	登録場所	有人カウンター、ポート(携帯電話利用)、WEBページ

管理	管理方法	遠隔管理
	貸出・返却の管理	ポートにおサイフケータイまたは専用ICカードをかざす
	集中管理	ポートから自動でデータ送信
	個人認証媒体	おサイフケータイまたは専用ICカード
	料金收受	クレジットカード

機器	自転車車両	新車(ブリヂストン ベガス) 小径車20インチ、内装3段式変速
	ラック	電磁ロック

## 【利用実績】(H24.12.31現在)

登録者数	10,345名
延べ利用回数	107,713回
1日平均利用回数	約300回/日 (H24.9~12)
回転率	1.25回/台・日 (H24.9~12)

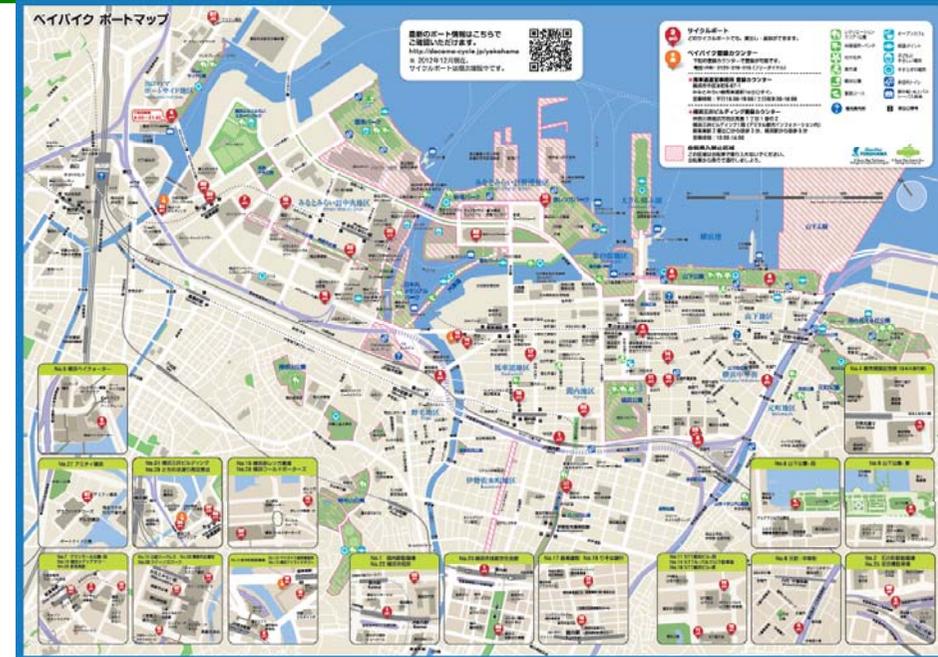
## 【目的】

- 想定したターゲット:観光/買物/業務/通勤等
- 横浜都心部での回遊性の向上、観光振興を目指すとともに、低炭素化に向けた取組として実施。
- 採算性を確保し、本格実施を目指す。

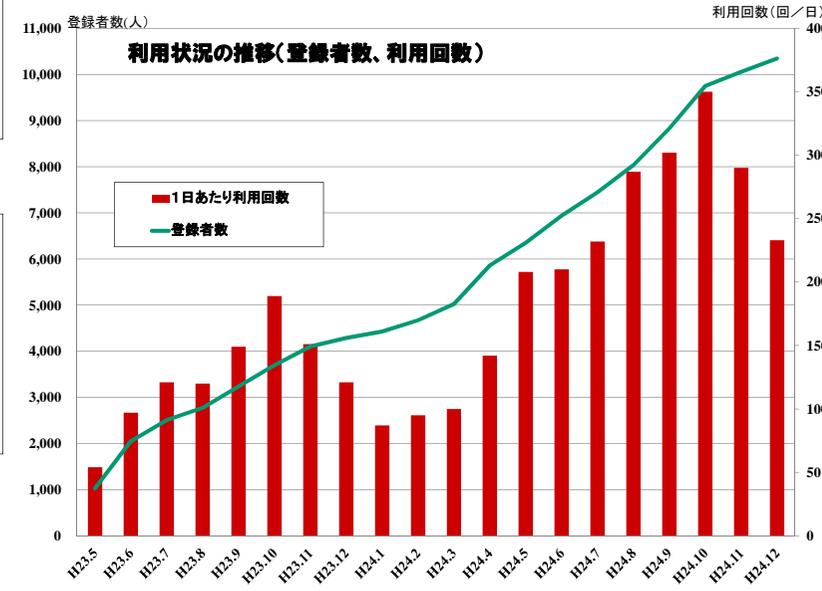
## 【評価】

- 利用回数は、平日・休日とも同程度。
- 利用者へのアンケート調査結果から、平日は通勤・業務目的、休日は観光・買物目的で利用されている。
- 社会実験の中で、コミュニティサイクルの位置づけや採算性について検証を行う。

担当 : 横浜市都市整備局都市交通課 石原、濟田、棧敷  
連絡先: 045-671-3512  
運営事業者: 株式会社NTTドコモ



サイクルポート・自転車    サイクルポート(内側)    専用ICカード



- 日本で最初のコミュニティサイクル本格実施
- 屋外広告を活用して収支を健全化、富山市には運営費用の負担無し
- 市政情報パネルを設置(歩道側:地図or市政情報、車道側:広告)
- 全15箇所のポートは全て道路上に設置(1箇所公園内)

## 【実施概要】

実施期間	期間	2010年3月20日～ 1,048日(2013年1月末時点)
	運営時間	24時間365日
施設規模	自転車台数	150台(135台)
	ポート数	15箇所
料金体系	登録料:無料 基本料:定期バス500円/月 バスカ 700円/月 メンバーカード 7日バス1,000円 2日バス500円 1日バス300円 利用料:最初の30分無料 次の30分200円 以降30分毎に500円	
	初期登録	登録方法:必要情報記入後、会員カード及びID番号を発行 登録場所:Web、郵送、窓口、ホテル窓口
管理	管理方法	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	貸出・返却の管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	集中管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	個人認証媒体	ICカード、ID番号
機器	料金收受	クレジットカード、口座振替、現金
	自転車車両	・自社設計開発、専用自転車 ・26インチ、3段変速、前後LEDライト、鍵付き
	ラック	埋設基礎式、カードリーダー組込
	その他	ターミナル

## 【目的】

- 想定したターゲット  
市内中心部に来訪する全ての方が対象。
- 実施の目的や背景  
富山市は環境モデル都市として、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」によるCO2排出量の大幅な削減を目指しており、特に過度な自動車利用の見直しが必要な焦点。交通網としての利便性を高めることにより、近距離の自動車利用の抑制を促し、二酸化炭素の排出量の削減を図るとともに、中心市街地の活性化や回遊性の強化を図ることを目的としています。

## 【利用実績】 2013年1月末時点

登録者数	3,189名
延べ利用回数	119,869回
1日平均利用回数	117回/日(通年) 135回/日(3月～11月)
回転率	0.86回/台・日
平均利用時間	約8分/回

## 【評価】

- 利用回数が毎年増加  
-2010年:31,306回  
-2011年:40,224回(前年比28%増↑)  
-2012年:44,926回(前年比12%増↑)  
・自動車(タクシー含む)からの転換が10%(CO2排出削減に貢献)  
・概ね80%の利用者がサービスに満足
- 今後の課題、展開予定等  
-ステーションの増設  
-サービスクオリティの維持

担当 : 富山市環境政策課  
連絡先 : 076 443 2051  
運営事業者: シクロシティ株式会社  
連絡先 : 03 5217 2510



# 岡山市コミュニティサイクル事業

○「自転車先進都市おかやま実行戦略」(H24. 8策定)における5つの施策分野のうち、「使う」における実施施策として、コミュニティサイクル事業を推進。  
 ○本格導入に向け、民間事業者のノウハウを活用した利便性の高いコミュニティサイクルとするため、「岡山市コミュニティサイクル事業実施条例」を制定。



**【本格導入におけるポート配置】**  
 ▶ 市内17箇所に配置  
 ▶ 特別名勝「岡山後楽園」  
 ▶ 民地活用  
 ▶ 国道・県道・市道

## 【社会実験概要】

実施期間	期間	H23.9.15(木)~H24.3.15(木)
	運営時間	24時間(一部ステーションを除く)
施設規模	自転車台数	100台
	ステーション数	7箇所
料金体系 (11月1日以降)		・1回(60分)100円(30分経過毎100円課金) ・1ヶ月1,000円(1回60分以内) ・1日利用:300円(11月1日新設)
	初期登録	登録方法 携帯・PCから登録 現金利用(11/1~)は申込書記入
		登録場所 個人の携帯
管理	管理方法	無人(有人対応時間あり)
	貸出・返却の管理	スタッフ用管理HP
	集中管理	コールセンターから一括
	個人認証媒体	専用のマイページ
機器	料金収受	クレジットカード(1日券のみ現金)
	自転車車両	ドイツ製自転車
	その他	ロックボックス付自転車

## 【導入の意義】

- ▶ 公共交通利用への転換を促進するツール
- ▶ 賑わいのある都心部を創出するツール
- ▶ 街を彩り、本市のイメージアップに資するツール

## 【課題と本格導入における対応】

	社会実験の評価	システムのあり方	公募条件等
自転車の仕様	・車体の高さや、車体への様々なシステム付帯(液晶パネル、ロックボックス等)に伴う重量増等により、高齢者、女性等の利用に不向きな問題点が確認された。	○幅広い属性(性別、年代、体型)による利用を想定し、誰もが乗りやすい自転車とする。 ○都市景観の構成要素としてデザイン性の高い車体とするとともに、デザインの統一化を図る。	▶ インチ数20~24 ▶ 対応身長が幅広く、自由度の高い軽快車 ▶ 操作性、安全性、耐久性の優れたもの ▶ BAAマーク・TSMマーク ▶ デザイン性が高く統一されたもの。
ポートの管理方法	・貸出返却時の携帯操作と液晶パネル操作に対して、手続きの簡略化を求める意向が確認された。	○個人認証媒体(ICカード等)を活用した、複雑な操作を必要としない手軽な貸出・返却管理システムについて検討する。	▶ ICカード等の個人認証媒体によるワンタッチの自転車の施錠管理を基本。 ▶ 携帯操作等の複雑な操作を必要としない簡便なもの。 ▶ 一時駐輪可能なもの。
会員登録方法	・初期登録手続きが携帯サイトやPCサイトからの登録に限定されたことにより、手続きの簡略化を求める意向が確認された。	○Web登録に加え、郵送による登録や現地(ポート)での登録など、簡便で利便性の高い多様な登録方法の確保を検討する。	▶ 各ポートでの登録及び窓口等対面での登録は必須 ▶ その他ホームページ等様々な方法での登録 ▶ 簡便で利便性の高いもの。
料金設定	・定期利用者の大半は30分以内の利用が行われた。 ・1日パスにおいては、平均して約180分程度の利用が確認された。	○H23年度社会実験の料金体系を基本に検討する。	▶ 社会実験結果及びアンケート結果を参照。 ▶ 回転率・利用率向上を促す設定。 ▶ 定期利用、一次利用等の複数の料金設定
料金収受方法	・クレジットカードを常時所有していない市民や来街者などから現金決済を求める意見が確認された。 ・実験途中からの現金払い対応を拡充したことで、利用増につながった。	○できるだけ抵抗感の抑えられるクレジットカード登録方式を検討する他、口座決済など他の決済方法も検討する。 ○ニーズの高い現金対応についても対応の可能性を検討する。	▶ 盗難や不正利用の防止、確実な決済を担保。 ▶ クレジットカード等による料金決済の他、厳禁決済、口座振替等、様々な決済方法。 ▶ 法人単位での支払い
運営時間	・朝は7~8時台をピークとし、夕方は17~18時台にピークが確認された。 ・早朝や夜間においても一定の利用ニーズが確認された。	○通勤・通学、帰宅時の利用を考慮しつつ、早朝や夜間の運営についてはサポート体制を考慮して検討する。	▶ 7時~23時を基本。返却は24時間。(ポート箇所によっては協議により変更)

## 【利用実績】

登録者数	361名(携帯利用のみ)
延べ利用回数	3,938回(携帯利用;2,026回)
1日平均利用回数	23.6回/日(携帯利用;9.6回/日)
回転率	0.215回/台・日
平均利用時間	102分/回(携帯利用;27分/回)

担当 : 岡山市都市整備局街路交通課 矢野・玉木  
 連絡先 : 086-803-1374